

| 目標 | 施策（事業報告はこの単位で実施） | 事業例（詳細は第4回協議会） |
|------------------------------|---------------------------|--------------------------------------|
| 目標Ⅰ．幹線交通の持続性・利便性向上 | 《施策Ⅰ》 幹線交通の持続性・利便性向上 | バス運転士確保のための取組 |
| | | 幹線路線サービス水準維持のための研究及び検討 |
| | | バス待ち環境の向上に向けた取組 |
| | | バリアフリー基本構想（※1）に基づくバリアフリー化とホームドア整備の推進 |
| 目標Ⅱ．日常生活に必要な移動を支える支線交通の維持と確保 | 《施策Ⅱ》 支線交通の維持と確保 | バス運転士確保に向けた取組（施策Ⅰ再掲） |
| | | 支線路線維持のための研究及び導入検討 |
| | | 地域コミュニティバス等の運行 |
| | | 新たな乗合交通の研究及び導入検討 |
| | | バス待ち環境の向上に向けた取組（施策Ⅰ再掲） |
| 目標Ⅲ．きめ細かな移動ニーズに応える交通の導入促進 | 《施策Ⅲ-1》 個別交通の活用促進 | タクシー利用環境の向上に向けた取組 |
| | 《施策Ⅲ-2》 地域や住民主体の交通支援 | シェアモビリティ（※2）利用促進の取組 |
| | | モビリティハブ（※3）の整備に向けた調査・検討 |
| | | 地域や住民主体の交通の取組支援とあり方の整理 |
| 目標Ⅳ．“持続可能なモビリティ都市”への転換 | 《施策Ⅳ-1》 先端技術の導入 | 自動運転運行調査及び導入検討 |
| | | デジタル技術の活用 |
| | 《施策Ⅳ-2》 利用促進・使い方の分かりやすさ向上 | 公共交通利用の啓発 |
| | | 移動手段に関する情報提供 |

※1．バリアフリー基本構想：鉄道駅を中心とした地区や高齢者障がい者などが利用する施設が集まった地区において、公共交通機関・建築物・道路などのバリアフリー化を面的かつ一体的に推進するために市町村が作成する事業計画

※2．シェアモビリティ：モビリティ（移動手段）を複数人で共有して利用するサービスや仕組み（シェアサイクルなど）

※3．モビリティハブ：公共交通機関やシェアモビリティ等複数のモビリティの結節の拠点